

北海道・釧路湿原 夏さわやか大自然交流合宿

おまえも一緒に楽しもうよ

主催 特定非営利活動法人静岡県教育フォーラム

後援・協賛 消防設備保全（株）様 （有）静岡オープンスクール

実施説明会 5月28日（日）午前10時半～12時 於：藤枝市青島北公民館

事前研修・交流会 交流会 6月25日、7月16日（共に日） 午後1時～3時

於：れんげじ公園

カヌー研修 7月2日（雨天のため中止）、23日（日）

午前8時～13時 於：天竜市相津マリーナ

交流合宿の日程 8月1日（火）～3日（木）

8月1日（火）

午前8時半、東進衛星予備校藤枝駅前校（当時）集合。参加者のA君（小4）の行き渋りに手こずったが、8時40分、何とか出発。

11時50分、羽田空港着。気温33度を超す猛暑。全員、半袖半ズボン。

12時55分、5分遅れでJAL1143便にて出発。

14時25分、釧路空港着。気温16度、ブルッ！みんな急いで長袖、長ズボンに着替える。

15時5分、マイクロバスで塘路へ。途中、釧路市動物園に寄るが、時間がないことに気づき、入り口だけを見て、急遽塘路へ。

16時、3艇のラフボートにて釧路湿原川下り。ラフボートを操る塘路ネイチャーセンターのスタッフのお兄さんに、「せんせい、手を3秒川の中に入れていたら、***（大人の飲み物）おごるよ～」***と聞いたら目がない私。早速挑戦するも、手を凍らす冷たさで堪らず2秒で引込め、***を逃す。仮にも8月1日の真夏。信じられない冷たさだった。



ラフボートの川下り

18時、憩いの家かや沼着。18時半、夕食。疲れを考え、交流会を取りやめ、みんな温泉を楽しむ。

21時半、就寝。

8月2日（水）

6時、起床。曇、やっぱ道東は夏でも寒い！

7時、朝食。

8時、憩いの家かや沼出発、渡辺体験牧場へ。

9時～15時、ファーム体験。

午前中、チチヨーデル（笑いを誘うネーミング）ちゃんの乳搾り体験。牛の体重は、胴体（そう！トップバスト）の長さで測ることを知る。メジャーの目盛りの単位がkg。ホントだ～。
次いで、バター作り。濃厚な牛乳を入れたビンをシェイクすること1時間余り。ホント、疲れちゃった。そして、アイスクリーム作り体験。これは、楽だった。



バター作り



牛の餌やり

昼食は、ジンギスカン鍋。みんな、大満腹。羊肉や具材の多いことにびっくり。3分の1は残しちゃった。ごめんなさ～い。

午後は、牧草刈りと牛のえさやり、長靴飛ばし、ファーム体験クイズ。大いに楽しんだ後、5年後の自分にはがきを書く。（5年後に北海道釧路の消印のはがきが届き、びっくり。忘れていた釧路交流合宿を思い出す。）

午後2時半、宿舎へ。

16時、憩いの家かや沼着。休憩。

18時、夕食。不登校のA君（小4）が食堂に来ない。部屋に行ったら、ホームシックになり泣いている。彼の話の聴き、みんなと食べようと説得するが、遂には「タケコプターで帰りたい」と泣き喚く始末。その声を聞きつけ同い年のB君が、彼の食事を運んで来てくれる。そして、泣き喚く彼に、B君が言い放った話にびっくり。「なにがタケコプターだよ。おまえなあ、せっかくお父さん、お母さんがお金をを出してくれて、北海道に来たんだから、泣き叫ばないで、この合宿を楽しめよ～。おれなんか、会いたくたって親がいなんだぜ！」「えっ？」と、A君。「だけど、一緒に来たK君のお母さんがこの合宿のお金をを出してくれたんだ。お土産はいいから全部使って楽しんで来なよって、小遣いもくれたんだよ。だからさ、おまえも、K君とも一緒に楽しもうよ。」A君の涙は引いてしまった。実は中国籍のB君。両親がある事情で中国に帰国。日本生まれのB君は、中国語が全く話せず中国で生活できないため、兄と共に施設に預けられていた。たまたまK君の看護師である母親がその施設を訪れ、B君の境遇を聴き、自分の子ども・K君が参加するこの交流合宿の費用を申し出て、今回の参加となった。その後、三人で少し話し合った後、A君はみんなと一緒に食べると言ってB君が持って来たお膳を持って、一緒に食堂に行った。

19時半、交流会。チームで、手を繋いだまま絡み合った人間知恵の輪を解くゲームに、ダルマ落としと伝言ゲーム、土台の新聞紙が畳まれて次第に小さくなる人間ツリーなどをやり、楽しんだ。A君の涙は完全に消え、代わりにお姉ちゃんとともに満願の笑顔となった。

B君の説得力はすごかった！不登校解消のヒントとなった。

21時半、就寝。その後のスタッフミーティングで、A君とB君の対応の話で深夜になった。

8月3日（木）

6時、起床。朝食。

8時半、憩いの家かや沼出発。途中、タンチョウ鶴に3度出会う。

9時～12時、釧路湿原 10kmのスペシャルトレッキング。展望台に登って大パノラマの大湿原を眺め、食虫植物を観たりと、湿原を堪能。そして、昼食。



釧路湿原スペシャルトレッキング

13時、釧路空港着。買い物に興じたり、思い出を語り合ったり、別れを惜しむ。

15時10分、JAL1146便にて釧路空港発。

16時50分、羽田空港着。

21時半、東進衛星予備校藤枝駅前校着、解散。

*合宿後、A. K. 君は小学校に復帰、お姉ちゃんと一緒に通い、卒業して中学校に。B. K. 君は、地元の小中学校を卒業し、県立高校に進学。生徒会長も務めた。

宿泊先 くしろ湿原パーク 憩いの家かや沼

参加者感想文

M. M. さん（小2）

8月2日は、うしのいろいろなたいけんをしました。まずバターづくりをしました。バターは、ふってつくりました。それなので、手がいたくなりました。アイスをつくりました。

アイスは、ぐるぐるまわしました。うしにえさをあげました。うしはくさをたべます。だから、くさをとりました。手はいたくなかったけど、おもしろかったです。すごいおもしろかったです。

T. M. さん（小3）

8月1,2,3日は、ほっかいどうに行きました。1日目は、ラフポートをやりました。知らない人との生活は、とても楽しかった。よるごはんは、すごいごうかでした。おふろは45度から46度はきつかった。2日目は交流会をやりました。うしのせわは、たいへんだったけどたのしかった。またほっかいどうにいきたい。

B. K. くん (小4)

北海道に行った。2泊3日だった。旅館に行くまえに、カヌーにのった。ぬれてしまった。楽しかった。旅館の風呂のろてん風呂に、くもがいた。風呂は暖かかった。2日目は、牧場に行った。乳しぼりをやらせてもらった。バター作り、アイスクリーム作りもした。さいごに、牛にえさをやった。そこらにはえている草を牛にあげた。2日目は、食どうで、人間知恵のわ、ダルマおとし、伝言ゲーム、新聞紙にのるゲームをやった。楽しかった。3日目は、しつげんに、3時間あるきに行った。ちょっとつかれた。たのしかった。

A. K. くん (小4)

うしのちちしぼりがたのしかった。すべてたのしかった。

K. A. くん (小5)

とても楽しかった。いろいろ楽しかった飛行機とかにのったのが楽しかった牛をさわったりちちしぼりがとても楽しかった。

M. N. さん (小6)

八月一日から三日間、北海道に行きました。一日目は、ラフボートで川下りをしました。二日目は、ファーム体験をしました。三日目は、釧路湿原スペシャルトレッキングをしました。

この中で一番楽しかったのは、ファーム体験でした。牛のちちしぼりや、牛のエサあげが思い出に残りました。だから、また来れる時があったら来たいです。

A. Y. ちゃん (小6)

うしにえさをあげるのがたのしかったよ。

T. M. さん (中1)

8月1日～3日間北海道に来て、知らないヒトたちと生活をした。最初はとても寒くて、たいへんだったけど、とてもたのしかったです。ついてからは、ラフボートにのって釧路湿原を約1時間かけてゆっくり下りました。虫も多くて、水は冷たくて、鳥の声も聞けてよかったけど、でも…、って感じでした。

2日目は、わたなべ体験牧場に行きました。そこで、おもしろいおじさんに説明などをきき、乳しぼりや、バターアイスクリーム作りや、牛のえさやりをしました。乳しぼりは、はじめての体験で少しこわかったけど、たのしくできました。バター作りは、おもいきりビンをつぶらないとできないと言われたので、おもいきりふつたらうでがいたくなりました。アイス作りを作るのは、たいへんだったけど、できあがりはとてもおいしかったです。牛のえさやりは、牛がえさをあげるのははじめてで、ものすごくこわかったけど、でもかわいかったです。とても、いい思い出になったと思いました。

O. S. 君 (中2)

北海道行ったときは寒かった。夏なのにやっぱ寒いとこだからかな。ラフボートは、いがいにも速くすすめて、息もぴったりただしたしバックや回てんなどを教えてもらってよかった。ファーム体験はくさいくいやだった。夜はカが多くでていやだった。釧路湿原スペシャルトレッキングは、2日目で運動をして足がいたくていやだった。空港にむかっていたとき、たんちょうの親子いたたくさん見れてよかった三日間は楽しかった。

K. I. さん (高2)

私は初めてこの合宿に参加しました。1日目にラフボートに乗り、2日目に牧場で乳搾りをしたり、アイス、バターを作ったり、牛に牧草をあげたり、そして3日目に釧路湿原を歩きました。なにもかもが初めてですごく楽しみでした。2日目はとくに楽しかったです。手づくりのアイス、バターは作るのが大変だったけど本当においしかったし、まじかで牛を見たときはかわいいなって思ったけど、草をあげたときはちょっと恐かったです。釧路湿原は本当に大きくて野生の動物などがいました。あまり近くで見れなかったけど、北海道だからこそ見れて嬉しかったです。また、たくさんの年齢の人達と話しができて本当に貴重な体験でした。またいつか行きたいと思いました。

S. E. さん (高2)

北海道は初めてだったので、楽しみにしていました！1日目はラフボートで川下りをしました。ラフボートをやるのは初めてで、ボートから落ちないか不安でした。でも、やってみたらすごく楽しくて、気持ち良くて、不安もなくなりましたo(^-^o2日目は、牧場で牛の乳搾りやバター作り、牧草刈り、牛のえさやりなどをしました！全部初体験だったので、ワクワクしました♪乳搾りが終わった後、牛乳を飲んですごく濃厚でいつも飲んでる牛乳とは違いました！

やっぱ新鮮は違うなって思いました(>_<)ノバターはクラッカーにのせて食べました。すっごくおいしかったです(^_^)v お昼はジンギスカンを食べました！羊の肉はちょっと臭いって言われたけど、そうでもなくておいしかったです!!3日目の最終日はスペシャルトレッキングで2時間くらい歩きました↓↓めっちゃ疲れました(T_T)。。。でも景色はキレイで空気も新鮮で、気持ち良かったです☆彡

北海道では貴重な体験が出来て本当に勉強になったし、楽しかったし、充実した3日間になりました(^_^)ノいい思い出です(UVU)*。° *スタッフの皆とも友達になれたし、今は行ってよかったなって思ってます!!!ありがとうございます\(^_^)(^_^)/また機会があったら行ってみたいです★☆☆☆☆

リーダー

N. T. さん (20 歳)

3 日間お疲れさまでした。今回は北海道ということで、私も行くのが初めてだったのでとても楽しみにしてました。釧路湿原でのラフボートや農場体験、他にも間近で野性の動物を見たりなど普段できないような体験を色々させて頂き、子供達はもちろん、自分にとっても良い経験になったと思います。トレッキングはかなり疲れましたが、あの長い距離を歩きおわった達成感はなかなか良いものでした。そしてどこまでも雄大な自然を目のあたりにし、深く感動しました。今度は冬の北海道にも機会があればぜひ行ってみたいです。ありがとうございました。

I. M. さん (21 歳)

この北海道での合宿は私にとって初めてのことがとても多く、貴重な体験となりました。真夏なのに暑いと感じたことはありませんでした。本当に何もなくて、自然の中にいるんだなと感じました。タンチョウやエゾジカも見つけることができ自然を満喫することができました。怪我もなく楽しく過ごせてよかったです。ありがとうございました。

O. W. さん (24 歳)

今回は、北海道の大自然での交流会でした。釧路の川下りや、牛のお世話、ウォーキングをみんな楽しそうやっていたので、とても良かったと思います。私はというと、仕事の疲れも少しあったせいか、Aちゃんや、Yちゃん、Mちゃん、他のリーダーに任せっぱなしになっていたかもしれません。少し反省しました。だけど、ペアーのYちゃんと、北海道をゆっくり満喫できたので、私も癒されました。みなさん、ありがとうございました。

I. Y. 君 (24 歳)

今年の夏は、どこへ行くのだろうか??そんな期待から始まった今回の合宿。北海道の釧路だと聞き、さまざまな思いがこみ上げてきました。行ったことのない北海道。一度は行って見たかった北海道。不安と期待を胸に、2泊3日の合宿がスタートしました。飛行機に乗って行くということもあり、疲れるだろうかと心配しましたが、川くだりのときみんなの笑顔を目にして、疲れも忘れ、楽しんでいる様子が伝わってきました。

2日目は、牛の乳搾りをしたり、えさやりをしたりなどさまざまな体験をしました。さらに、広い農場で思いっきり遊んでいる姿を見て、今回は動物と触れ合えただけでなく、たくさんの友達とも交流できて、貴重な合宿になったと感じました。2日目の夜には、明日でもう終わりなの?とさびしそうな声も聞かれ、短かったと思いました。

確かに、知らない人たちと交流するには2泊3日では短かったかもしれません。もう少し長ければ、より楽しかっただろうし、新しい発見もできたと思います。しかし、短かったからこそ、毎日笑顔が絶えなかった合宿になったとも言えるのではないのでしょうか?昼間だけではなく、夜の旅館でさえも、みんなで楽しく過ごすことができたことが、一番印象的でした。今回の合宿を通して、今後も子供たちが笑顔絶やさず成長してってくれるこ

とを願っています。本当にありがとうございました。

S. T. 君 (25 歳)

今回北海道で、僕自身も貴重な体験をいろいろさせてもらいました。いつもと比べてすべてがスムーズにいき、なんかリーダーとして何かをしたというよりもみんなと一緒に北海道を楽しんだという感じでした。みんな貴重な体験ができたと思います。この経験がみんなにとって思い出に残る楽しく有意義なものであったと信じています。お疲れさまでした。

山下 泰孝 (51 歳)

こうした合宿を続けて 31 年目に入りました。勿論、数えれば 31 回以上、多分 70 回を越すと思います。しかしながら、毎回新たな感動を覚えます。それ故に 31 年も続けて来られたと思います。川下りした釧路川の冷たさ、遥か 3km は続く大牧場、見渡す限りの釧路湿原、真夏なのに平均 16.5 度の世界。子供たちは自然のすばらしさ、大切さを感じたと思います。ありがとう、釧路の大自然。手伝って頂いたリーダーの皆さん、塘路ネイチャーセンターの皆さん、ありがとうございました。